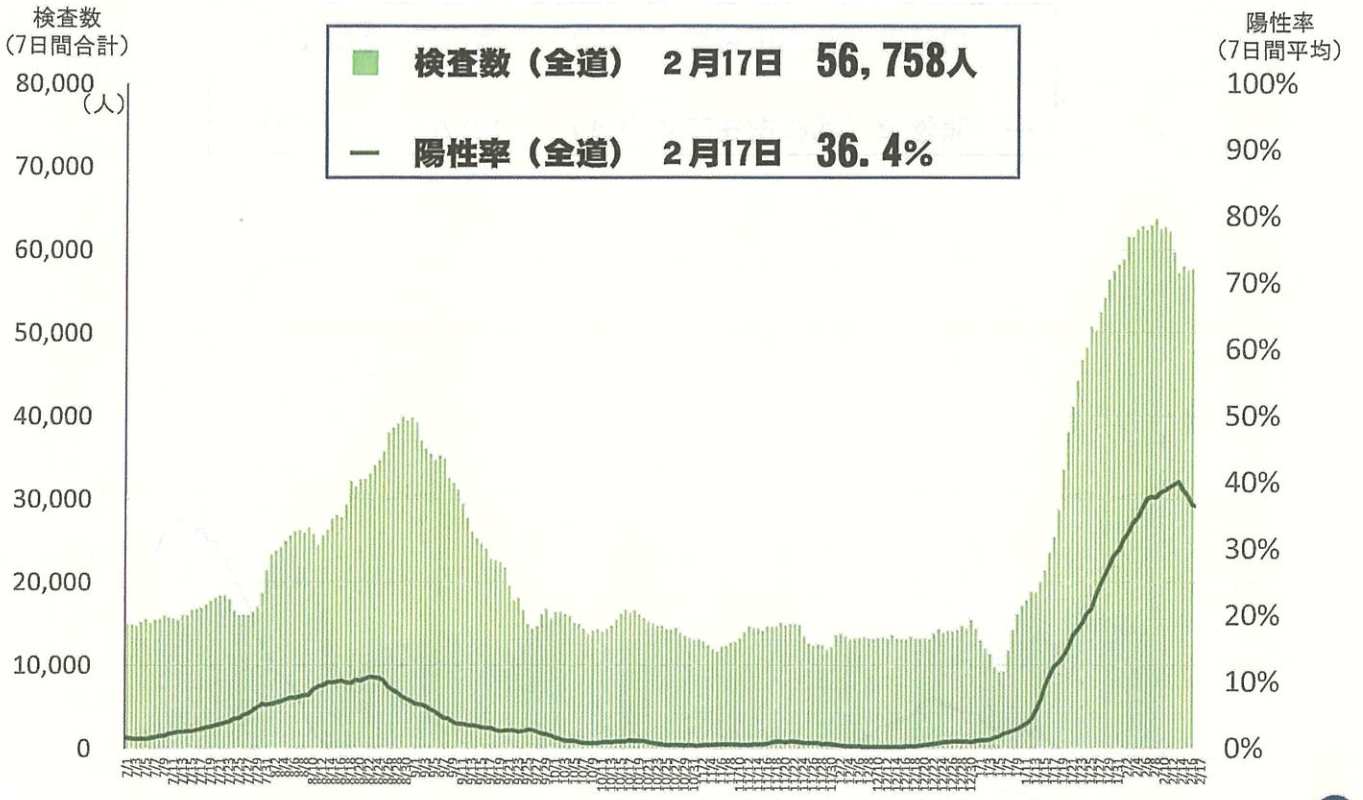
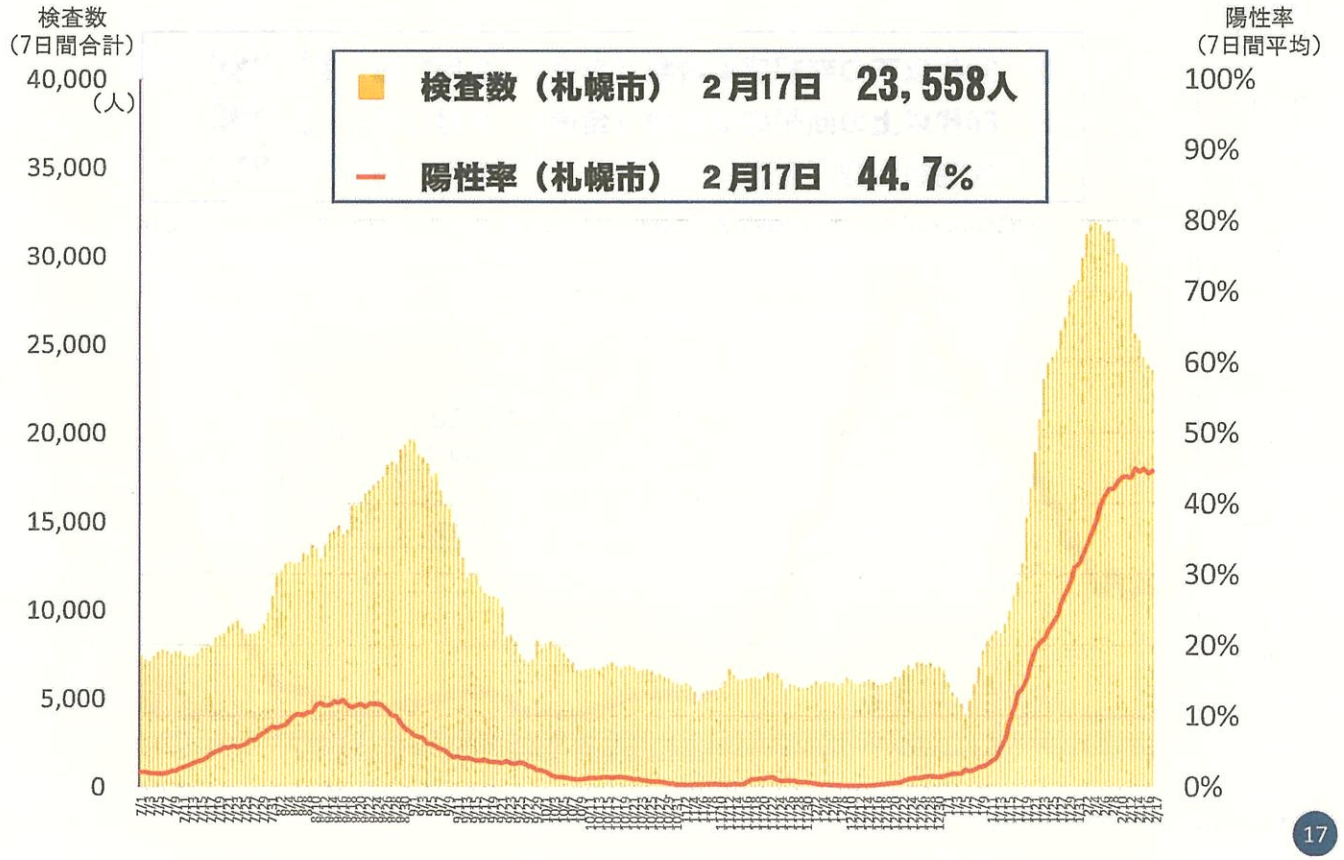
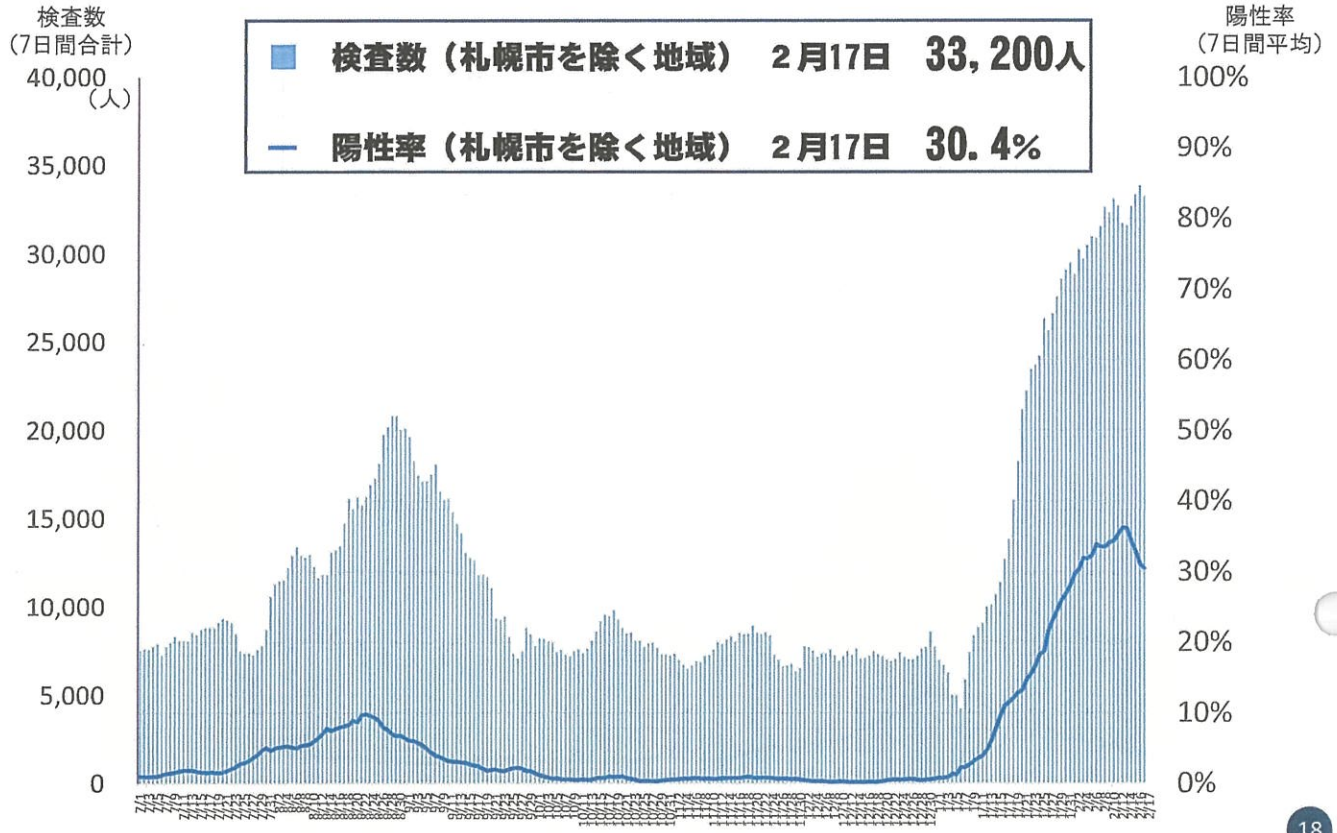
検査数と陽性率（全道）



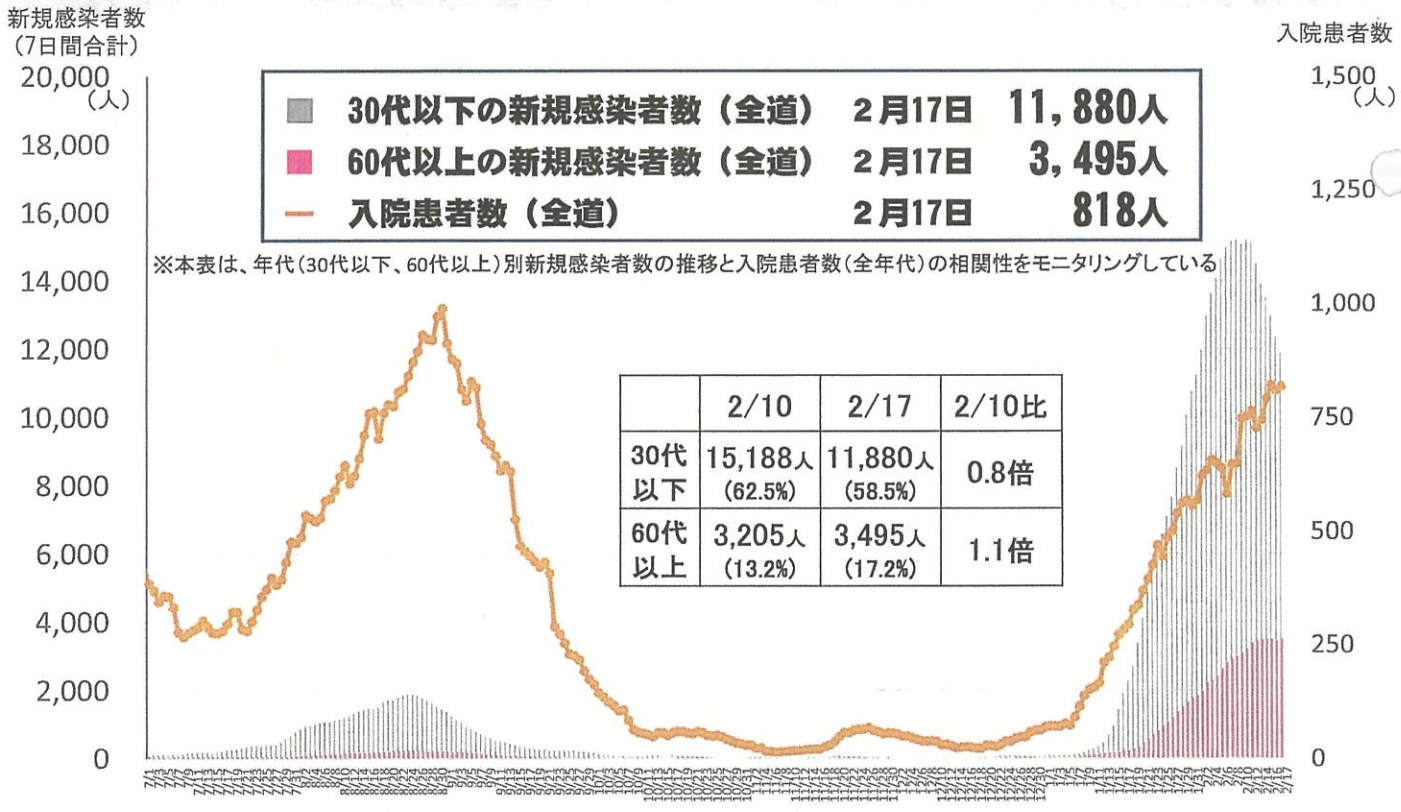
検査数と陽性率（札幌市）



検査数と陽性率（札幌市を除く地域）



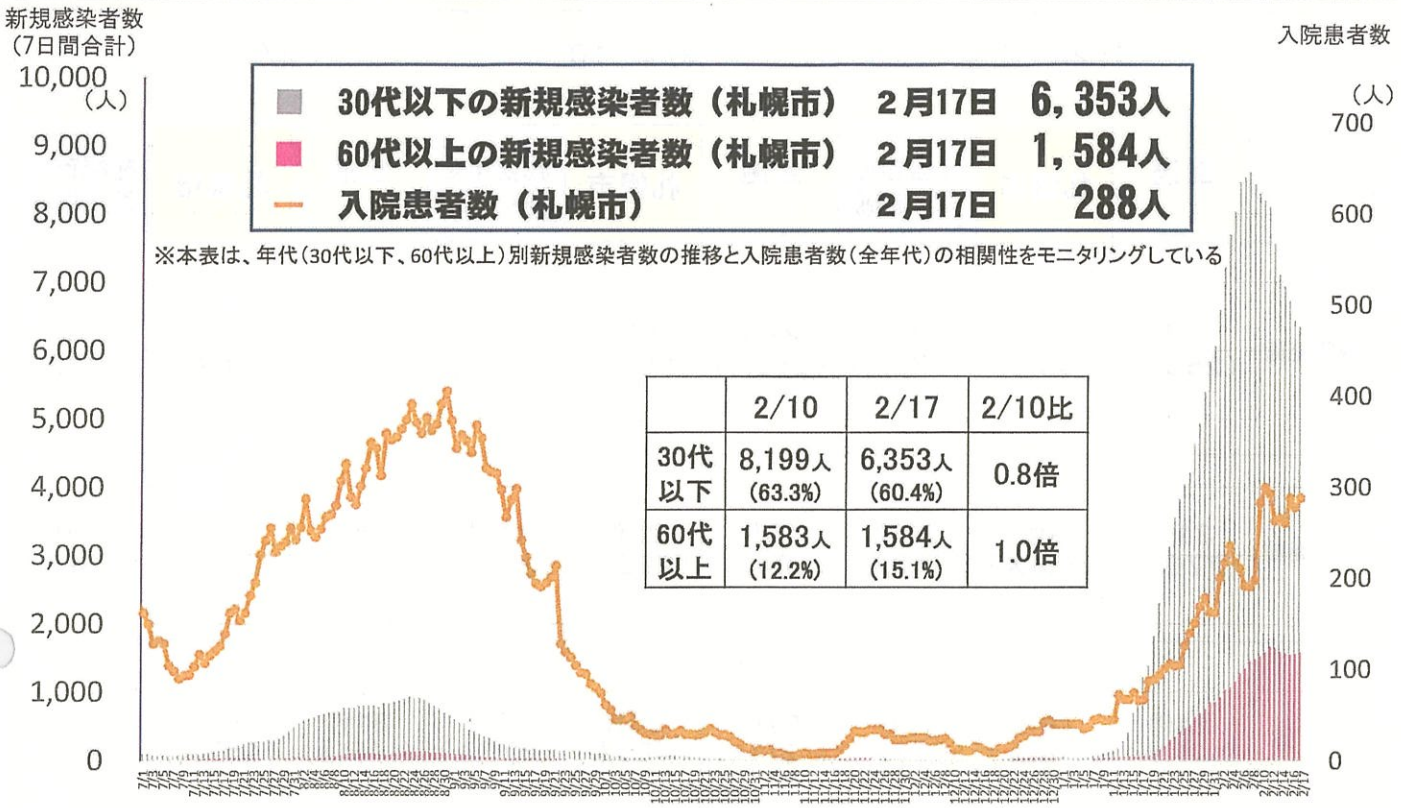
年代（30代以下、60代以上）別新規感染者数（全道）



	2/10	2/17	2/10比
30代以下	15,188人 (62.5%)	11,880人 (58.5%)	0.8倍
60代以上	3,205人 (13.2%)	3,495人 (17.2%)	1.1倍

（新規感染者のうち年齢公表分を集計）

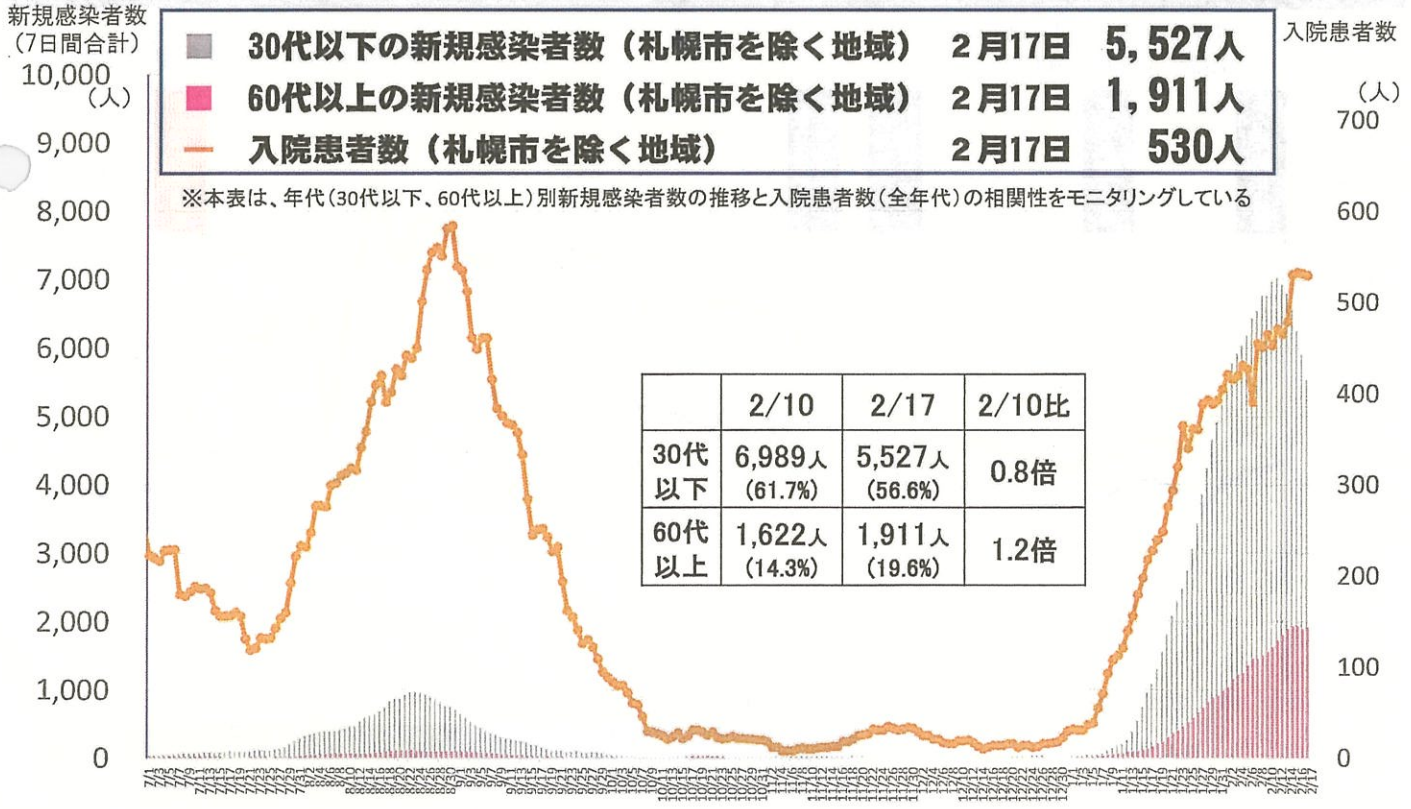
年代（30代以下、60代以上）別新規感染者数（札幌市）



	2/10	2/17	2/10比
30代以下	8,199人 (63.3%)	6,353人 (60.4%)	0.8倍
60代以上	1,583人 (12.2%)	1,584人 (15.1%)	1.0倍

（新規感染者のうち年齢公表分を集計）

年代（30代以下、60代以上）別新規感染者数（札幌市を除く地域）



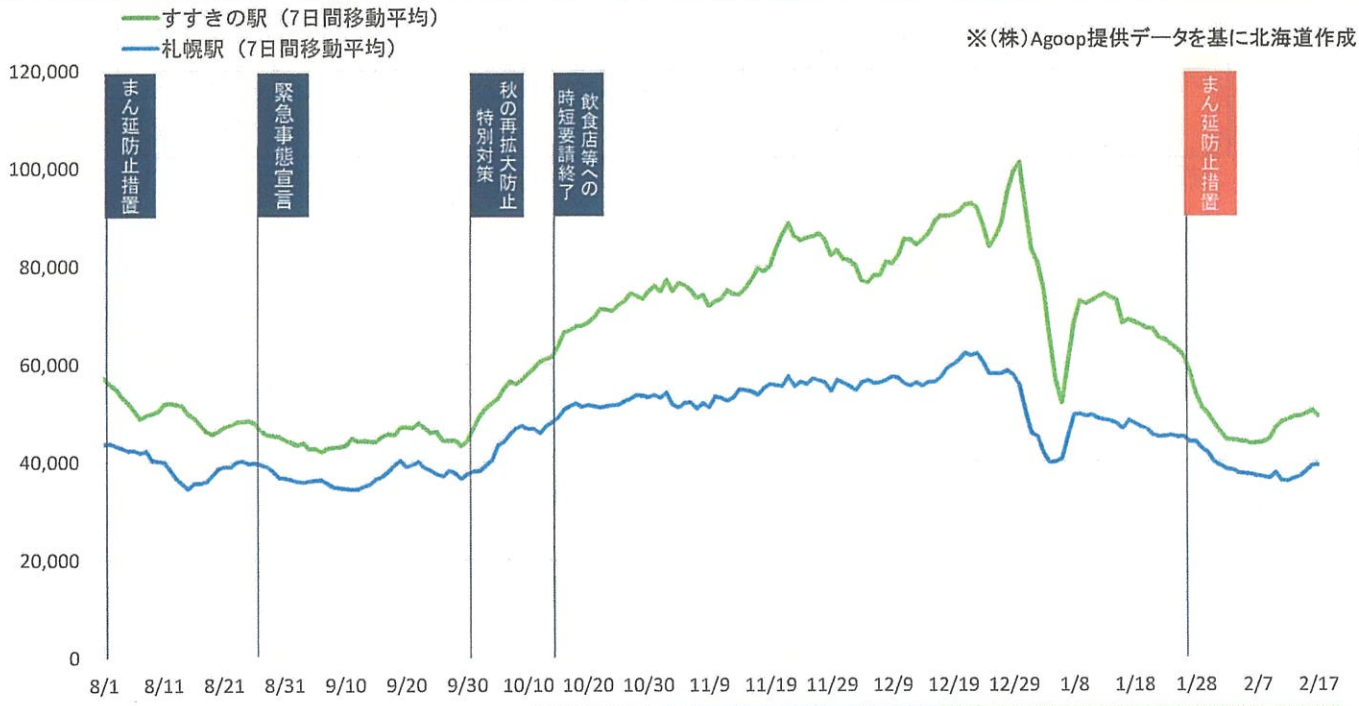
	2/10	2/17	2/10比
30代以下	6,989人 (61.7%)	5,527人 (56.6%)	0.8倍
60代以上	1,622人 (14.3%)	1,911人 (19.6%)	1.2倍

（新規感染者のうち年齢公表分を集計）

集団感染の発生状況（医療施設・福祉施設）

	1/28～2/3			2/4～10			2/11～17		
	全道	札幌市	札幌市を除く地域	全道	札幌市	札幌市を除く地域	全道	札幌市	札幌市を除く地域
医療施設	13件（256人）	5件（86人）	8件（170人）	27件（689人）	13件（297人）	14件（392人）	17件（295人）	6件（68人）	11件（227人）
福祉施設	31件（776人）	9件（264人）	22件（512人）	40件（584人）	22件（299人）	18件（285人）	64件（860人）	27件（389人）	37件（471人）
合　計	44件（1032人）	14件（350人）	30件（682人）	67件（1273人）	35件（596人）	32件（677人）	81件（1155人）	33件（457人）	48件（698人）

札幌市の人出（札幌駅、すすきの駅・21時）



	札幌駅					すすきの駅				
	適用前		適用後（22日目）			適用前		適用後（22日目）		
前回のまん延防止等重点措置（8/2～8/26）	8/1	43,686	8/23	39,947	▲8.6%	8/1	57,277	8/23	48,173	▲15.9%
今回のまん延防止等重点措置（1/27～）	1/26	45,043	2/17	39,207	▲13.0%	1/26	61,626	2/17	49,228	▲20.1%

新型コロナワクチン接種の取組状況等について（接種率等）

1　ワクチン接種状況について（医療従事者等分を含む。2／17現在）

<追加（3回目）接種の状況>

区分	3回目	
	接種者数	接種率
北海道	591,603	11.3%
（参考）全　国	16,009,146	12.6%

<初回（1・2回目）接種の状況>

区分	1回目		2回目	
	接種者数	接種率	接種者数	接種率
北海道	4,226,856	80.8%	4,157,753	79.5%
（参考）全　国	101,513,835	80.2%	99,976,131	78.9%

※接種率は令和3年1月1日現在住民基本台帳の人口に対する割合。なお、上記はVRSの入力値等に基づくものであり（VRS未入力の職域接種分は含まない。また、初回接種における医療従事者等及び追加接種の全国分接種者数は首相官邸HP公表値による）、実際の接種率より低い場合等があることに留意。

新型コロナワクチン接種の取組状況等について（接種率等）

2　道内人口区分別接種状況（医療従事者等分を含む。2／17現在）

人口区分（市町村別）	市町村数	人口（人）	接種率（全年代）		
			1回目	2回目	3回目
100万人以上	1	1,961,575	78.8%	77.4%	8.5%
20万人以上	2	583,288	80.5%	79.2%	12.2%
10万人以上	6	849,242	81.2%	79.6%	11.3%
3万人以上	13	722,259	81.3%	80.1%	12.9%
1万人以上	33	578,442	83.4%	82.3%	13.5%
5千人以上	39	272,482	84.3%	83.2%	14.8%
3千人以上	41	165,341	84.8%	83.6%	17.0%
3千人未満	44	96,103	85.8%	84.7%	19.5%

※接種率は令和3年1月1日現在住民基本台帳の人口に対する割合。なお、上記はVRSの入力値等に基づくものであり（VRS未入力の職域接種分は含まない。）、実際の接種率より低い場合等があることに留意。

新型コロナワクチン接種の取組状況等について（接種の促進）

3 追加（3回目）接種等について①

○ 4月までに供給されるワクチンについては、各市町村への配分決定済(市町村へ通知済)。また、2月15日に国から、5月から8月分の追加接種に用いるファイザー社製ワクチン(3回目第6～8クール)及びモデルナ社製ワクチン(同第7～第8クール)の都道府県別の配分量等が示されたことから、今後、早期に市町村別の配分を決定・通知予定。

【道内の接種対象者とワクチン供給状況】

（単位：万人(接種対象者数)、万回(ワクチン供給量、接種回数換算)）

	追加接種時期	21年12月	22年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	計
接種対象者数	医療従事者等	24	5								29
	高齢者	12	15	97	26	2	1	0	0		153
	その他	2	4	2	63	65	70	24	5	2	237
	合計	38	24	99	90	67	71	24	5	2	419
	累計	38	63	162	251	318	389	412	418	419	419
ワクチン供給量	ファイザー	66		39	38+22	48					213
	モデルナ		70	52	43	29+20	20				234
	合計	66	70	91	103	97	20				447
	累計	66	136	227	330	427	447				447

左記以降の配分量等は未定。
この他、初回接種の
未使用ワクチン
約40万回程度分も活用。

※接種対象者数は、全ての対象者を前倒し接種すると仮定した場合の最大値(国公表値)。赤字部分は、2/15に国が新たに提示した配分量。

○ なお、今回国から示された部分を含めると、5月中旬までに、追加接種に必要なワクチンの概ね全てとなる約447万回分が確保されることとなるが、接種の進捗状況やワクチン配送のタイミング等により、個別の市町村において一時的にワクチンが不足する場合には、道による市町村間のワクチン融通を実施する。

新型コロナワクチン接種の取組状況等について（接種の促進）

4 追加（3回目）接種等について②

○ 道医師会や札医大等と連携・協力の下、2月11日から、道内市町村が発行した追加接種用の接種券をお持ちの18歳以上の方を対象に、3月までの土曜・日曜・祝日に道直営の集団接種会場「北海道ワクチン接種センター」(札幌市厚別区)を開設。3月13日までの予約については、当初予定を前倒して受付中。

[2/19～3/13(計9日間)の予約状況(2月18日14時現在)]
① 2/ 5受付開始分 ： 2/19～2/23分 の予約枠 1,080件 に対し 1,080件受付、予約率100.0%
② 2/17受付開始分 ： 2/26～3/13分 の予約枠 2,160件 に対し 720件受付、予約率 33.3%
※2/26(土)は予定数に達したものの、それ以外の日程については空きがある状況。

[2/11～13 (計3日間)の接種実績]
予約枠 960件 に対し 958回接種、接種率 99.8%
※ワクチンや接種能力の有効活用の観点から、道警職員や道の危機管理部門の職員等へ接種した分を含む。

○ 2月7日に岸田総理が、2月のできるだけ早期に、1日100万回(接種)までペースアップすることを目指すと表明したことなどを踏まえ、道としても、「北海道ワクチン接種センター」における接種や、モデルナ社製ワクチンの積極的な活用を含めた交互接種への理解促進に努めるほか、特に、高齢者施設入所者及び従事者のうち希望される方への接種をできるだけ早く完了するよう取り組むなど、3回目接種の加速化に向け、市町村と連携し取り組む。

○ 職域追加接種については、国において申請を受け付けており、道内では2月17日時点で87件の申請があった。首都圏の一部企業では2月12日から接種が始まったが、道内でも、今月下旬以降に順次接種が開始される見込み。道としても、引き続き、制度拡充等に関する国への要望や、1会場当たりの実施要件の緩和(500人以上)等を踏まえ、各種情報提供などを含めた実施企業等の支援に努める。

○ 新たに接種対象年齢となる方も含め、接種を希望される方については、本年9月30日まで初回(1・2回目)接種が引き続き可能。オミクロン株の感染拡大を踏まえ、岸田総理会見や厚労省のアドバイザリーボードでも、未接種の方へのワクチン接種が勧奨されていることなどから、今後とも、希望される方が円滑に接種を受けられるよう、市町村とも連携し取り組む。

新型コロナワクチン接種の取組状況等について（接種の促進）

5　小児（5歳以上11歳以下）への接種等について

○　5歳以上11歳以下の小児への接種について、2月10日の国の審議会で、予防接種法に基づく特例臨時接種に位置づけることが了承され、今後、2月下旬以降に接種開始できるよう、関係法令等が改正される見込み。
　道としては、引き続き、市町村等や医師会・小児科医会などの関係団体との情報共有のほか、各市町村における対応の検討状況等を踏まえ、地域の実情に沿った体制構築に向け、引き続き、市町村の取組を支援する。

　また、ワクチン接種の有効性や副反応などについて、これまで以上に接種対象者や保護者の皆様にご理解いただくことが重要であり、国の責任において国民的な理解の促進に努めるよう要望するとともに、道としても、市町村とも連携し丁寧な情報発信等に努める。

○　2月15日に、国から、4月までの小児用ファイザー社製ワクチンの配送量やスケジュールが示された。このうち道内分に配分される約33万回分（2回接種が必要なため、約16.6万人相当分）について、早期に市町村毎の配分を決定・通知予定。
　なお、今回国から示されたものを含めると、道内には合計約44万回分が配分されることとなり、これは、道内の対象者約28万人の2回接種に必要な量（約56万回分）に対し、8割近くの量となる。

区分	第１クール (2/21の週～)	第２クール (3/7の週～)	第３クール (4/4の週～)	第４クール (4/18の週～)	計	【参考】 道内の 対象者数
道内への配分	約3. 4万回分	約7. 4万回分	約16. 6万回分	約16. 6万回分	約44万回分	約28万人 （約56万回分）

※赤枠部分は、2/15に国が新たに提示した配分量